

節目の年を飛躍の年に

初 心

2013年盛夏号

平成25年8月発行
年2回刊
題字／福田富一 書

〈発行所〉

福田富一
暮しと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028 (633) 1111
<http://www.tomikazu.com>

栃木県誕生140年の節目を迎えて！

栃木県知事 福田富一

残暑お見舞申し上げますとともに、日頃のご芳情に感謝・御礼申し上げます。

さて本年は、多くの分野で節目を迎える。まず、本県誕生140年で

ある。毎年6月15日を「県民の日」と定めているが、明治6年6月15日に栃木県(日光・壬生・吹上・佐野・足利・館林の6県が統合)と宇都宮県(宇都宮・烏山・黒羽・大田原・

茂木の5県が統合)が一緒になって現在の栃木県が誕生した。140年を迎えた。(一)は明治4年に廃藩置県により県となったものの、その年のうちに下野の国は上記2県に統合、明治9年には旧館林県が群馬県に編入、明治17年には県庁が栃木市から宇都宮市への県庁移転という歴史をたどった。

ケで歌えないかとの県議会からの提案を受け、現在会社と協議中であり、なるべく早く実現したいと思っている。ちなみに県民の歌がカラオケで歌えるのは「信濃の国」の長野県民の歌のみと聞いている。

3月2日、日光霧降アリーナで「ひかりの郷 日光国体1年前イベント」が開幕し、歓迎セレモニーで「機運を盛り上げたい」と挨拶する知事。

何といっても2巡目国体の事実上の内定を得たことが大きい。(現在は内々定、開催5年前に内定、3年前に決定となる。)9年後の開催に向けて、オール栃木で準備万端整えたい。

国体が18年ぶりに本県で開催される。「ひかりの郷日光国体」と銘打って、開催に向けて着々と準備が進められている。10月4日から7日までの4日間、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねんりんピック栃木2014」も開催される。

また、下野新聞が創刊135年、宇都宮商工会議所が創立120周年、田中正造が没後100年、NHK宇都宮放送局が開局70周年(テレビ放映開始から60年)などがある。

技能五輪と障害者の技能競技大会(アビリンピック)は、平成29年に開催できるよう国に申請手続きを済ませた。何としても物づくり県栃木での開催を実現したい。

平成27年には、徳川家康公400年式年祭が日光東照宮で開催される。それに併せてNHKの大河ドラマで、徳川家康をその年の題材にしてくるよう過日、栃木県関係者はもちろんだが、東照宮のある静岡県、家康の生まれ育った愛知県岡崎市の関係者と3県合同で、NHK放送局センターにて会長に要望を行った。改めて、「泣くまで待とうホトトギス」の生き方を学び、家庭・地域・日本の平和につなげていければと思う。

来年は、1月28日から2月2日まで、スキー競技を除き日光市において、第69回冬季



歌謡曲の「高校3年生」は、舟木一夫が50年前の6月5日にレコード発表、100万枚以上を売り上げ、その年の紅白歌合戦に出場。「上を向いて歩こう」は、同じく50年前の6月全米ヒットチャート1位を記録、「すきやきソング」として話題になった。

歌と言えば「栃木県民の歌」をカラオケで歌えないかとの県議会からの提案を受け、現在会社と協議中であり、なるべく早く実現したいと思っている。ちなみに県民の歌がカラオケで歌えるのは「信濃の国」の長野県民の歌のみと聞いている。

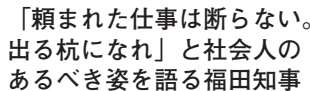
国体が18年ぶりに本県で開催される。「ひかりの郷日光国体」と銘打って、開催に向けて着々と準備が進められている。10月4日から7日までの4日間、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねんりんピック栃木2014」も開催される。全国から選手役員1万5千人が参加する、60歳以上の方の国体とも言われる大会である。ゴルフ・サッカー・卓球などのスポーツあり、俳句・囲碁・将棋などの文化面もある、文化と健康と福祉の総合的祭典である。

いずれの催しも、県民一人一人がおもてなしの心を最大限発揮し、大成功のイベントに仕上げたいし、何より全国の皆さんに栃木に対する好印象と栃木の魅力を存分に知り楽しんでもらう機会としたい。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

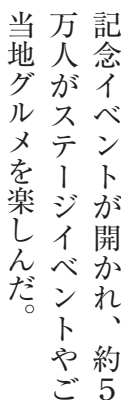


「栃木で医療に携わって」

さらに「医療職である前に人であれ」と語り、言葉使いやコミュニケーションシヨ



約5万人が「県民の日」祝う



6月15日は1873（明治

都宮県が合併し、現在の栃木県が誕生した日。今年は140周年の節目にあたる。

記念イベントは午前10時から県総合文化センターでオープニングセレモニーが開かれ、福田富一知事が「節目の年であり、ふるさと栃木への愛着を深めてもらい、見つめ直す絶好の機会」と挨拶。その後栃木、茨城、福島 の3県警音楽隊の合同で復興支援コンサートを開催。午後には「とちぎ

オール栃木で誇れる国体を

防災・減災
知事と対話

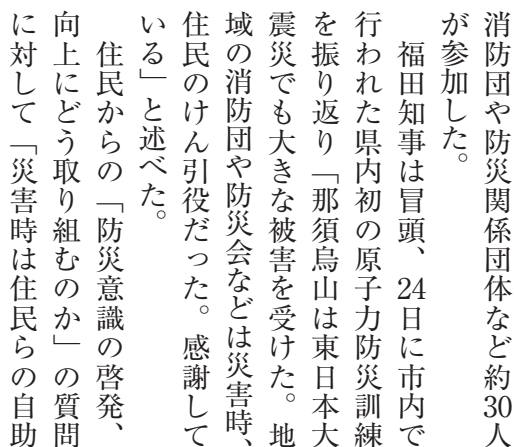
初回は6月29日、「知事と語るう！とちぎ元氣フォーラム」地域における「防災・減災対策」が、那須烏山市役所烏山庁舎で開かれ、

未来大使」を務めるダイヤモンド☆ユカイさんのライブも開かれた。

県議会議事堂1階に設けられたステージでは、宇都宮市出身の歌手、森昌子さんと福田知事のトークショーが開かれ、大勢の県民が詰めかけた。同ステージでは、ファッションショーを開いた宇都宮短大付属高校や書道パフォーマンスを披露した作新学院高校など高校生らが活躍。

屋外の県民広場では、県内各地のマスコットキャラクターが集合した「とちきゃらーズ祭り」やフラガールが登場した復興支援ステージ、ご当地グルメ150店が並ぶコーナーがあり、親子連れをはじめ多くの来場者でにぎわった。

とちまるショップ1周年



知事手応え、店頭PR

5月22日、東京スカイツリータウンの本県初のアンテナショップ「とちまるショップ」が開店1周年を迎え、福田知事と県内4市長が、店頭で本県や各市町のPR活動を行った。

福田知事は来場者に「おかげさまで1周年。さらにお買い物をして頂き、栃木にお出掛けを」とあいさつ。生のイチゴを練り込んだジェラートの「とちおとめ小町」50個を無料で振舞った。「手応えはあった」と知事。

野木町で県植樹祭

豊かな緑を後世に

「緑あふれる地球の未来　僕らが
つくる　僕らが守る」をテーマに、
栃木県誕生140年・野木町町制施
行50周年記念の「第51回県植樹祭」
が5月18日、佐川野の町総合運動公
園で開かれ、本県の緑豊かな環境を
後世のために守り育てようと誓いを
新たにしました。

市町長や県議ら関係者750人が参加。主催者を代表して福田知事は「緑は本県のかげがえのない財産。県民と共に緑あふれるとちぎづくりを進める」、真瀬町長は「記念すべき年に植樹祭を開催でき、感謝したい。次代を担う子どもたちへこの環境を大切に継承していく」と挨拶。

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞の記事を抜粋させていただきました。

道州制は究極の行政改革

松山市で全国知事会議

全国知事会議が7月8日、9日の2日間の日程で松山市で開催された。40府県の知事が参加し、各党が検討している道州制導入に向けた基本法案に関する意見書をまとめた。

意見書は、道州制導入が地方分権の推進につながることを明確にするため、国の出先機関の廃止や中央省庁の解体再編を法案に盛り込むよう要請。制度の理念や具体像を明示し、国と地方の協議を徹底するよう求めた。福田富一知事は賛否の判断を先送りした道州制について「道州制は基本的に賛成だ。究極の行政改革であり、地方分権改革が進んだ最後の

姿が道州制だと思う。なぜ今議論するかを説明し、国と地方の役割分担を整理する必要がある」と述べ、「検討に当たっては熟度を高めた議論が必要」との意見を表明したこと

を明らかにした。

国民健康保険(国保)のあるべき姿については、福田知事自身が委員長を務める知事会の社会保障常任委員会に事務レベルの検討組織を立ち上げることで「国の動向に応じ、スピーディーに対応したい」とした。政府の社会保障制度改革国民会議は、国保の運営を市町村から都道府県に移管することを検討している。

社会保障国民会議に出席

福田知事 地方の声訴え

医療や介護、年金や少子化対策の在り方を検討する政府の社会保障制度改革国民会議は2月28日、首相官



全国知事会を代表し、国民会議で発言する福田知事

邸で5回目の会議を開き、地方団体からヒヤリングを行った。全国知事会社会保障常任委員長の福田知事が出席し、国民健康保険(国保)制度や医療サービスの提供体制などについて、国の方針の明確化や国費負担の拡充などを訴えた。

ヒヤリングは国民会議の要請で実施され、全国市長会や全国町村会の代表者も出席。福田知事は、知事会と市長会、町村会の統一見解を説明した。

国保制度について「失業者らも加

22年国体 栃木に内々定

「栃の葉」以来42年ぶり

県体育協会の安納守一理事長は2月7日、2022年の第77回国民体育大会の栃木県開催を求める要望書を福田知事、県会議長、県教委に提出した。福田知事は「国体は県民のスポーツ意欲を高めるだけでなく、地域活性化や人づくりにも有意義」

と、入る最後のセーフティーネットだが、市町村格差も大きく極めて厳しい運営を強いられている」と言及。「保険料や公費などをどう組み合わせ持続可能な制度を作るか方針を明確にすべきだ」と主張した。

医療分野では、全国の慢性的な医師不足などを指摘し、医療機関の機能分担や介護との連携強化を強調。サービスの利用が増え、利用者負担の適切な見直しや国費負担の拡充を求めた。

福田知事は今後について「改革の方向性が出た段階で国と地方の協議の開催をお願いしたい」と要請した。

福田知事は2月19日に開会した県議会2月通常会議で、「2022年の第77回国民体育大会の本県招致に努めたい」と述べ、秋季国体招致に向け今後、国や県内市町と調整を図っていく考えを示した。

福田知事は5月16日、県と県教委と県体協の3者連名で、文部科学省と日本体育協会に開催要望書を提出。日本体育協会は7月24日、要望通り9年後の国体開催を内々定した。

福田知事は内々定を受け、「国体開催はスポーツ振興だけでなく、観光振興や地域経済活性化への貢献も期待される。成功に向け、市町や関係団体と協議し、オール栃木体制で全国に誇れる国体を作り上げたい」とコメントした。



3月10日、日光国道121号板橋バイパス全線開通式で挨拶する知事

東奔西走の日々

- ◇ 1月22日 東京・大田市場でトップセールス／「とちおとめ安全です」
- ◇ 1月23日 都内で全国知事会議／地方公務員の給与削減に反発
- ◇ 1月26日 高島屋新宿店で「スカイベリー」PR／固定客獲得へ手応え
- ◇ 2月13日 日光国体をPRするラッピングバス出発式／「機運を盛り上げたい」
- ◇ 3月9日 日光で「地方分権・地方自治フォーラム」／「地方分権」推進へ
- ◇ 3月10日 日光国道121号板橋バイパス 全線開通／「地域経済の活性化に大きく寄与するだろう」と知事。
- ◇ 3月24日 東京スカイツリータウンで観光PR／「栃木は身近なオアシス」
- ◇ 4月1日 辞令交付式／「即戦力になってほしい」と知事。
- ◇ 4月6日 春の交通安全県民総ぐるみ運動
- ◇ 4月18日 「銀座栃木屋本店」開店

- ◇ セレモニー出席
- ◇ 4月22日 全国知事会社会保障常任委員会(委員長・福田富一知事)／困窮者支援法案の協議継続を
- ◇ 4月22日 都内で全国知事会議出席
- ◇ 4月23日 独協医大創立40周年記念式典に出席
- ◇ 4月28日 東京・憲政記念館での「主権回復の日」式典に出席
- ◇ 5月10日 東京で社会保障審議会の医療保険部会に全国知事会の代表として出席
- ◇ 5月15日 駐日ペルー大使が知事を表敬訪問
- ◇ 5月31日 都内で「とちぎ技術展示商談会 in Hirachi」を開催
- ◇ 6月1日 とちぎ元氣フォーラム in 那須／指定廃棄物で意見交換
- ◇ 6月6日 大阪市内での関西県人会に出席
- ◇ 6月19日 芳賀地区ブロック別市町村長会議／少規模文化施設補助検討。
- ◇ 6月22日 野木町でとちぎ元氣フォーラム／煉瓦窯活用など説明。



下村博文文科相に要望書を手渡す福田知事(左)

2千人余の参加者を得て

福田知事 政治生活30年を祝う会

福田知事の政治生活30年を祝う会が5月18日、宇都宮グランドホテルで開かれ、福田元、佐藤勉両衆院議員ら国会議員や県内市町長、県議、市議ら政界関係者のほか、業界団体などの支援者ら約2千人が参加。福田知事が後援会総連合会長を務める参院選栃木選挙区の立候補予定者で前高根沢町長の高橋克法氏も出席した。



福田知事は挨拶で、宇都宮市議として政治生活をスタートさせる際の苦労話を披露。喜江子夫人や支援者に感謝を述べ「3日後に還暦を迎える。目標を掲げて一生懸命努力している若者に、私がこれまでに得た知識や経験を伝えていくような役割も担っていきたい。知事として仕事をしたい。」

毎年2月の第3日曜日に開催されてきたゆりの会新年会は、会場の都合で今年は2月

ゆりの会新年会



当日、来場者に配られた、記念品と記念誌、お礼状

くことと、人を育てること、この両面で社会に貢献していきたい」と抱負を語った。30年の政治活動の写真やコラム集などを載せた記念誌も発行し、来場者に配られた。

3日(日)、ホテル東日本で400名余の参加者を得て開催された。

当日は節分の趣向も凝らされ、ゆりの会有志の皆さんによる踊りも披露され、女性ならではの華やきが新春の慶びを一層盛り上げた。

しめくくりは恒例の「とみかずサンバ」を斉唱、親睦を深める和やかな集いとなった。



「東北音頭」他を踊った平松本町有志の会の皆さんと、知事を囲んで

『福田家の茶の間』

5月18日、夫の政治生活30年のお祝いを開催してもらった。会場に入りきれないほど、2千人以上の方にお出で頂き、ホテルの駐車場まで辿り着けなかった方も居られたとのこと、ただただ申し訳なく、感謝の気持ちで一杯です。

ご支援を宜しくお願ひ致します。



当日は3人の子ども達にも出席して欲しいと思っていたが、記念誌作りに追われて連絡が遅くなり、長男は仕事の都合がつかず来られなかった。子ども達には生まれた時から選挙のたびにさ

などが懐かしく思い出された。近年一番人気の山とあって、頂上は人で溢れかえっていたが、爽やかな風に吹かれながら夫と娘と食べたソフトクリームは格別だった(写真)。

160人で高尾山ハイキング

6月9日(日)、今年一番人気の高尾山へハイキングに行った。高尾山麓清滝駅に10時15分に到着。登りは岩屋大師や琵琶



1号車の皆さんと



2号車の皆さんと



3号車の皆さんと



寿号の皆さんと

滝、前の沢沿いを歩く6号路コース。下りは高尾山薬王院への表参道をたどる1号路を歩いた。参加者たちは変化に富み、見所がいっぱいの高尾山を満喫した1日となった。

文化講演会のお知らせ



講師 戸田 恵子さん
(女優)

演題 『女優百貨店』

日時 9月27日(金)

午後6時30分 開会

場所 宇都宮グランドホテル

入場料 1,000円

※チケットご希望の方は事務所まで連絡下さい

2013年度 下半期の行事予定

知事と語る会

日時: 11月頃

場所: 未定

※日時・場所等、決まり次第お知らせ致します。

もちつき大会

日時: 12月1日(日)

11時~13時

場所: 今宮1丁目公園

会費: 大人 300円

子供100円

ゆりの会新年会

(女性のみ)

日時: 2014年2月9日(日)

11時~13時半

場所: ホテル東日本宇都宮

会費: 5,000円

編集後記

福田知事の

を祝う会、そして参議院議員選挙と、皆様には大変お世話になりました。皆様には大変お世話になりました。お陰様で高橋克法さんも大差で当選することができました。これも皆様方のご支援ご協力のお陰と感謝申し上げます。今回は段取りが悪く、初心の発刊が大幅に遅れてしまいました。半年間の出来事をまとめてみました。どうぞご一読下さい。

◆福田富一後援会総連合会事務所
宇都宮市馬場通り2-11-12

電話 028(633) 1111
FAX 028(633) 1110